

「制約の中の自由」

制約の多い環境のなかで、自分の生き方に責任を持つ、あるいは責任のある行動をおこなうことは、人間に与えられた特権である。多くの人は、このような自立性、自発的な自己形成を、最初からまったく考えないか、途中で断念してしまう。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

梅雨時期に降る雨は、厳しい暑さの前に大地を潤してくれる恵みの雨です。その雨滴をまとして輝くみずみずしい紫陽花は、沈みがちな気持ちをぱっと晴れやかにしてくれます。

新型コロナウイルス感染症が長期化し、生活様式の変容など自分の力だけでは避けることが出来ない制約を今なお余儀なくされています。規則や常識などにも時に縛られ、わずらわしさを感じ、不安定で変化のある中にいると身動きが取れなくなってしまうこともあります。しかし制約の中にあっても自分にとって何が大切で必要か、どうありたいのかを自身に問うことが必要だと思います。私達は選択と決断、行動の積み重ねにより今があり、これからもたくさんの選択肢が待ち受けています。病気や事故など、どうにもならないこともあります。今を生きるために現状や結果を受け止めることはとても大事だと思います。誰かに言われたから、意向に従っただけと人のせいにして失敗を嘆いたり後悔しても、誰も責任をとってくれないのです。自己責任を受け入れた上で自分の望む喜びや俵せに意識を向け、未来に繋がる一歩を踏み出したいと感じます。

子どもたちにもどう考え、どう行動するか、主体的に考え行動できるかの土台となるよう育ちを支えて参りたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

7月聖句
勇気を出しなさい。

ヨハネによる福音書 16編33節

7月主題

「きもちいい」0歳

- ・保育者の祈りやさんびかに親しむ。
- ・水や砂に触れて、夏の遊びを楽しむ。
- ・食事、睡眠を十分にとり健康に過ごす。

「やってみる」1・2歳

- ・保育者と一緒に祈る。
- ・夏ならではの遊びを楽しみ、心を開放する。
- ・気持ちを丁寧に受け止めてもらいながら、自分からやってみようとする。

～子どもたちの姿～

梅雨と夏の合間の天気や気候の変化は大きく、もう夏もすぐそこに来ているような気持ち良く晴れ渡った日が続いています。子どもたちは、花びらや葉っぱなど見つけたものを集めては、宝物のように大切にしています。「きれいだよ」「いい匂いがする」と見たり触れたりしながら、廃材を活用したフラワーポットに、集めたものを糊で一つひとつ丁寧に貼り付けプレゼント制作をしました。周囲の環境に興味を持ち、自然素材に関わり遊ぶ楽しさを味わっています。SDGS活動の一つとして、ご家庭でも出来ることから一緒に取り組んで頂けたらと思います。



【7月の讃美歌】

きよいあさあけて

【7月のうた】

たなばたさま
みずあそび
しゃぼんだま



	月	火	水	木	金	土	日
7月の予定表				1	2	3	4
	5 身体測定	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20 避難訓練	21	22 海の日	23 スポーツの日	24	25
	26 誕生日会	27	28	29	30 クレイシュ通信	31	

◎水遊び・沐浴が始まります。毎日の健康観察を行い、チェックカードを忘れないようお願いいたします。
◎持ち物にはわかりやすい場所に大きく名前の記入をお願いいたします。